

< 運営推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 恒和会	事業所名	看護小規模多機能サンリンク
所在地	(〒742-0032) 柳井市古開作 479-3		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

1. 安定した稼働率の維持
2. 働きやすい職場の実現
3. 法人理念を理解し、実践する
4. ゆうわ総合サポートセンターの役割の理解と事業所としての実践

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 12 月 ~ 20 日	従業者等自己評価 実施人数	(12) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 21 日	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (2 人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (〃 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (4 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (〃 人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (〃 人) <input type="checkbox"/> その他 (〃 人)			



■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	看多機らしいケアの提供（看取りや医療度の高い利用者様のケア）を行い、職員のケアの質の差を小さくし、家族に寄り添ったケアを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・泊りの受け入れなど積極的に行い、家族の要望に応じていく ・医療ニーズが高い利用者を中心に登録を行い、ケアを実施する ・介護、看護の連携し、統一したケアの提供を行う ・積極的に研修に参加し、職員のケアの差を少しでも埋める 	<ul style="list-style-type: none"> ・急遽の泊りでも受け入れてもらっている。 ・実際に看取りを行い、家族に寄り添うケアができたが、まだ完璧とは言えず更なる支援体制の整備が必要。 ・看取りや痰吸引など、必要な研修の充実が必要。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様 1 人 1 人に対し、アセスメントを行い、職員や家族、本人と共有し、ケアを提供する。 ・介護・看護職が協力し、情報共有を行い、家族に対し、指導や状況の説明を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・24 時間の暮らしに着目したアセスメントを行い、それを軸にケアを提供する ・介護計画、看護計画で各々の職種がアセスメントに携わる ・家族、本人に対して、アセスメントから作成した計画を伝え実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、看護職がそれぞれの観点からアセスメントを行う事ができ、本人にあったケアを提供することができた。 ・職員同士の情報共有が不十分なことがあるという意見があったので、両職間の情報共有ができるようしっかりと話し合っしてほしい。 ・自己評価は概ねできていると思う。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院や Dr との連携を密に行い、円滑な在宅生活の移行に繋げる。 ・どんな状況でも即座な対応ができるような体制を整え、対応できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院、退所前カンファも参加し、情報の共有を行う ・緊急時の状態報告を確実にを行う ・24 時間オンコールなど対応ができる体制を築く 	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医との連携はできており、円滑な在宅生活に繋げることができた。また緊急時も迅速に報告を行い、緊急搬送などに繋げる事ができた。 ・
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員であることを自覚し、運営推進会議などで課題提起や改善策の提案を行う。 ・「痰吸引」や「人工呼吸器」を必要とする利用者様を受け入れる体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を実施し、提案など、こちらから情報を発信する。 ・痰吸引、人工呼吸器を使用している利用者に対応できるような体制を築く 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の実施はでき、会議録の作成もしている。今後は更なる情報開示をお願いしたい。また地域住民に向けた啓発活動も力を入れてほしい。 ・喀痰吸引等研修を受けた介護士もおおり、さらに体制が整いつつある。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安楽な療養生活、以上の早期発見を計画に入れ、実施する。 ・看多機らしいケアの提供を行い、看取りに対して安心感を得られるようなケアの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解がなかなかできない家族もいるので、家での療養生活や看取りに対して、安心感を得られるような説明やケアの提供を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアの提供やその説明など、家族や本人が理解するまで丁寧に行い、信頼感を得ることができた。すべての利用者に安心感を与えられる対応をお願いしたい。 	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・泊りの受け入れなど積極的に行い、家族の負担軽減に繋がった。 ・医療ニーズが高い利用者様を優先して登録し、看多機らしいケアの提供ができた。 ・介護、看護の連携はできているが、職員によって理解度の違いがあり、統一したケアの提供まではできなかった。また、普段の業務もあり、積極的に研修を受けられなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看多機らしいケアを継続して行っていく、更に本人や家族の負担軽減になるよう工夫していく。 ・職員の能力の差がどうしてもあり、ケアの統一が難しい場面もあった為、研修を積極的に部署内でも行い、参加できるような体制を築き、能力の差を埋めていく。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間の暮らしに着目したアセスメントを行っており、それを軸にケアを提供できている。また、介護計画、看護計画で各々の職種がアセスメントに携わっているが、情報の共有が不十分などところがある。 ・家族、本人様に対して、アセスメントから作成した計画を伝え、実施し、さらに本人様にあったケアの実施ができた。 ・職員によりアセスメントに繋がる情報収集の能力に差がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、看護職員それぞれが協力し、引き続きアセスメントや計画作成を行っていく。 ・情報の共有が不十分な部分や、情報収集の能力に差が見られたので、できている職員ができていない職員に教える事ができるような体制を築く。また、研修なども行っていく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・連携はしっかりできている。退院、退所前カンファも参加できていて、情報の共有ができていて、円滑な在宅生活の移行に繋がっている。 ・緊急時に看護師から医師に状態の報告ができています。 ・24時間オンコールなど対応ができる体制を築いているが、全において即座に行動できているとはいえない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も退院、退所前カンファに参加して、円滑な在宅生活の移行に努める。 ・緊急時等、24時間対応できる体制を今以上に築き、もっと利用者や家族が安心して在宅でも過ごせるようにする。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は行っており、会議録の作成もしているが、提案など、こちらから発信するところまではできなかった。 ・痰吸引に対しては介護職にも有資格者がいるも24時間の体制が完璧とはいえず、人工呼吸器に対しては不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員という事を自覚し、運営推進会議などでこちらから情報や提案など発信できるような関係性を築く。 ・喀痰吸引等研修を一人でも多く受けてもらい、体制をより強固にする。 ・人工呼吸器を使用している利用者の体制を築く
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に計画にいれ、達成できた。 ・理解がなかなかできない家族に対してもしっかりと説明を行い、家での療養生活や看取りに対して、安心感を得られるようなケアに繋げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も看多機について理解が乏しい利用者や家族がいると思われる為、どの職員でも寄り添い、丁寧な説明を行う事ができるようになる。 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	0	6	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りの支援体制の整備をお願いします ・医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル、看取りのケースが多く在宅を支えられている ・自分の理念が明確化できていない ・医療ニーズの高い方を優先して登録している ・急な医療機関からの要請も受け入れている ・泊りを受けて家族への負担軽減にはなっていない ・看取りの支援体制ができていない ・看取りはまだ勉強中 					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	1	4	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の理解度の統一性がないように感じます。研修等の充実をお願いします。 ・家族、介護、看護の連携は必要だと思ふ。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・介護、看護の連携は実践できている ・職員によって理解度に差がある ・同行訪問している ・自身の理念等が明確化できていない ・理念が形骸化している 					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	0	3	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の必要性を感じる。 ・育成評価の政策の状況について充実度を評価します。 ・個々の職員に応じた育成計画に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・あまり体制は取れていないと感じる ・今の課題を取り上げ研修している ・育成計画の作成ができていない 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
		<ul style="list-style-type: none"> 慢性的な人手不足で十分な教育はできていないと感じる 個人目標の明確化がうすい 					合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	0	5	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 研修の充実をお願いします。 自己研鑽等の意識付けを図る。 	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	0	6	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士の意思疎通を。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	0	5	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有を。 	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	0	8	3	1	・今後も安心して働くことができる環境づくりをお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	0	7	5	0	・安心して預けられるためにも職員同士の情報共有を。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	8	3	0	核マニュアルができていないか不明との意見があるので周知をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
		とも検討 ・毎日、健康チェック、マニュアルチェック後、業務につく					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	1	6	3	2	・自己評価にばらつきがみられるので、職員間の対応にもばらつきがあると思われる。対応方針に共有を。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
II サービス提供等の評価 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1	8	3	0	良好に行われていると思います。 ・夜間の家族からのコールに対応していて助かっている。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれ	0	6	6	0	・情報共有が不十分なことがあ	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
	の視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・介護、看護の視点から実施されている ・介護、看護で共有できる工夫が必要 ・介護計画、看護計画で各々両職種がアセスメントしている ・朝礼での申し送りはしている ・情報共有が不十分なことがある				るとの意見があるので、両職間の情報共有を。	ント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	0	10	1	1	・おおよそできているとの自己評価されており、今後も続けてください。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	1	8	2	1	家族、本人の移行の違いには苦慮されると思いますが、丁寧に話を今後も聞いていただきたい。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	1	8	2	1	・難しいことですが、職員同士で話し合い、計画の見直し等をお願いします。 ・わかりやすい情報の伝え方を検討してほしい。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
		いる					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	0	9	2	1	現場の声が反映されていないとの意見がありますので、しっかりと意見を聞いてあげてください。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者の観察をしっかりとっていく ・現場からのアセスメントを計画に反映されているとは言えない ・福祉用具の追加、交換をしている ・訪問看護計画書、報告書を作成 ・振り返りをして次につなげている					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	0	9	3	0	・生活状況の変化の把握は難しい事と思いますが大切なことですので、今後も対応をお願いします。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・家庭だけでは難しい人が多いため訪問サービスはなるべく毎日入り状況を把握している ・自宅への訪問を行っている（看護+介護） ・偏りがある ・生活状況の把握が十分に行えない					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	0	8	4	0	・生活状況の変化の把握は難しい事と思いますが大切なことですので、今後も対応をお願いします。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・共有されていると思う ・主治医などの事業所外の職種の情報が不明 ・職員によって温度差あり ・本人の状況に変化があった場合のみ情報を伝えている ・訪問看護報告書を作成 ・随時、体調不良時は主治医へ報告している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
		・状況に応じて医師、ケアマネ、スタッフ 間へ報告					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	0	9	3	0	・職員間の情報共有を。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・最大限とは言えない、不十分 ・定期的にミーティングをして確認 ・慢性的な人手不足で十分でない ・協働業務を明確にしている 					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	1	8	3	0	・自己評価では概ねできちえいると思いますので、継続してください。ミーティング時により情報共有をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・随時、介護、看護間での情報共有を行っている ・人によりできている様に思う ・情報の提供はしている ・定期的にミーティングを行っている ・申し送り時にミニカンファ 					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	1	10	1	0	・自己評価では概ねできちえいると思いますので、継続してください。ミーティング時により情報共有をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・申し送りで行われている ・人数が少なく不十分なことがある ・必要な利用者に関してはできている ・同行訪問し、状態や観察点を伝えている 					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴	0	8	4	0	今後もわかりやすい説明を利	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の理解」について、充

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
	等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・説明するのは、知識が不十分 ・医療ニーズが重度な方は、家族への説明になっている ・計画書の説明をしている ・担当職が対応するため情報は後でわかる(タイムラグあり) ・利用開始時に説明				利用者等をお願いします。	足度を評価します
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	10	2	0	・自己評価ではできていると思いますので、今後も継続的な対応をお願いします。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・家族、本人に説明している(契約時) ・訪問看護計画書作成 ・担当者が対応 ・ターミナルケアは、病状悪化の兆しあれば説明					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	10	2	0	・自己評価ではできていると思いますので、今後も継続的な対応をお願いします。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・初心者の家族には何度も納得のいくまで説明し、指導している ・その都度説明し対応 ・家族に吸引や胃ろう注入を指導している					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人(意思の決定・表示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	0	9	2	1	・自己評価ではできていると思いますので、今後も継続的な対応をお願いします。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・家族より本人の意向を聞いている ・病状悪化の説明し、理解を得る					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	0	9	3	0	・自己評価ではできていると思いますので、今後も継続的な対応をお願いします。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・共有することが大切だと思う ・急ぐ場合が多くできていない ・理解できる利用者からは、意見を聞き取					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
		る					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	0	8	4	0	・死までの経過は家族にとっても関心のある事と思いますので、丁寧な説明をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	0	10	1	0	・自己評価ではできていると思いますので、今後も継続的な対応をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	1	10	1	0	・自己評価ではできていると思いますので、今後も継続的な対応をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含め	1	10	1	0	・自己評価ではできていると思いますので、今後も継続的な対	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価しま

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
	て、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	<ul style="list-style-type: none"> ・できている ・看護師による助言、訪問がなされている ・24時間対応できるようにしている（オンコール含む） 				応をお願いします。	す
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	0	9	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係団体への情報提供を今後もお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	0	7	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報開示を積極的にお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	2	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域住民向けの啓発活動をお願いします。 ・カフェは南海が利用しました。良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	2	7	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護の積極的な実施をお願いします。 ・強味を生かした業務展開に感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	3	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的な受け入れをお願いします。 ・積極的な受け入れ助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	3	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的な受け入れをお願いします。 ・積極的な受け入れありがたいです。 ・今後の課題として取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする	2	6	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的な受け入れをお 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
	要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・積極的に看取り看護を受け入れている ・今の職員体制では不十分だと思うが受け入れはある ・利用者の状況を把握し、ほぼ受け入れている				願います。 ・積極的な受け入れありがたいです。	足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	0	6	6	0	・構築方針や計画の内容の理解について、個人差や理解不足という意見がありますので、今後とも研修等により統一、理解をお願いします。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	1	9	2	0	・今後も継続的な対応をお願いします。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域	0	7	4	1	・今後も積極的な提案をお願いします	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できて いる	あまり できて いない	全く できてい ない		
	の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	[具体的な状況・取組内容] ・今まではできていないが、今後の運営推進会議等を利用し、提案していきたい				します。	組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	0	8	4	0	・家族の移行を尊重した対応をお願いします。 ・住民へは介護力などは分からない。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている	・①ということであり、今後も継続した対応をお願いします。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・安全安楽な療養生活、早期発見にて達成 ・1ヶ月毎に看護サービス報告書あり		
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ニーズに基づいたケアができています ・ターミナルケアを在宅で実施	・②との評価であり、更なる対応をお願いし、全ての利用者 に安心感を与えられる対応をお願いします。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・グリーンケアも時に実施、感謝のはがきあり	・①ということであり、今後も継続した対応をお願いします。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」